

先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本 2022




J

国・自治体

J02 はあもにい管理運営共同企業体

日常的に災害に備える～男女共同参画の視点に立って～

当館は、誰もが性別にとらわれず、共にいきいきと個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す熊本市の活動拠点です。ホールや研修室などの施設の貸し出しによって市民文化の振興・交流に貢献するとともに、男女共同参画社会の実現を目指すための講座やセミナー、イベントを行っています。今回のフェアでは、熊本地震を経験した私たちが提案する男女共同参画の視点に立った防災出前講座や施設の紹介をします。




住所 〒860-0862 熊本市中央区黒髪3-3-10
TEL 096-345-2550

J03/S07 熊本市

熊本市における防災への取組について

熊本地震から6年半が経過しました。本市のブースでは「真の災害に強いまち」の実現を目指す取組を紹介します。

- ・熊本地震の被害を振り返るとともに、熊本市の今、そして未来に向けた防災への取組のパネル展示
- ・通常の運用時は環境負荷を低減し、災害時には非常用電力供給源となる電気自動車・電気バスの展示
- ・各区役所における各地域の実情に合わせた様々な防災・減災の取組の紹介
- ・指定避難所に設置されるマンホールトイレの展示




住所 〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号
TEL 096-328-2950

J04 熊本県

令和2年7月豪雨の概要や行政対応。震災に関するパネル展示。

- ・熊本地震や令和2年7月豪雨における被害や災害対応の状況、復旧・復興についてパネルを展示します。県内市町村をはじめ、全国の災害対応力強化にお役立てください。
- ・熊本県内における高規格道路の取り組みと「10分・20分構想」をご紹介します。
- ・水素をエネルギーとする燃料電池自動車（FCV）の展示や、UXプロジェクトに関する取り組みなどをご紹介します。



住所 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1
TEL 096-333-2319

J 国・自治体

J05 益城町

熊本地震から6年 今回も開催!!益城町の「今」を伝えるバスツアー

- 初回から出展している益城町です。
- 町の風景が一変したあの地震から6年が経過しました。今回も、災害からの創造的復興をテーマに、公共施設や震災遺構を巡る「益城町の「今」を伝えるバスツアー」を開催します。(当日の事前申し込みが必要です。)
- 災害に強いまちづくりの取組を、DVDでの放映やパネル展示でご紹介します。




益城町復興まちづくりセンター

住所 〒861-2295 熊本県上益城郡益城町木山594
TEL 096-286-3210

J06 農林水産省 九州農政局

農業農村の防災への取り組み等について

九州農政局農村振興部では、頻発化・激甚化する豪雨、地震等の自然災害に適切に対応し、安定した農業経営や農村の安全・安心な暮らしを実現するため、ハード対策、ソフト対策及び災害復旧を組み合わせた農業・農村の防災・減災対策や、河川流域のあらゆる関係者が協働して行う「流域治水」の取組として、水田の活用（田んぼダム）・農業用ダムの洪水調節機能の強化等の取組を推進しています。



スマート田んぼダム（自動排水栓）

住所 〒860-8527 熊本市西区春日2丁目10番1号 熊本地方合同庁舎A棟 6F
TEL 096-211-9111

先進建設・防災・減災技術フェア in 熊本 2022

J07 国土交通省 九州地方整備局

防災・災害対応のインフラDXに関する技術の取り組み

近年、大規模自然災害が全国各地で頻発化・激甚化しています。九州でも、平成28年熊本地震、平成29年7月九州北部豪雨、令和2年7月豪雨等毎年のように災害が発生しています。国土交通省では、これらの災害時に、被災自治体等への支援を行っているところです。災害調査等を含むインフラ分野のDXとして、3次元VR等デジタル技術の紹介等のブースの展示をしています。



住所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-7
TEL 092-471-6331 (代表)

J08 経済産業省 九州経済産業局

**そのお悩み、専門家に無料相談!
(事業継続力強化計画、経営)**

自然災害や感染症など経営を取り巻くリスクから自社のビジネスを守るための支援施策をご紹介します。また、経営リスクへの備えや経営に関するお悩みが無料で答えられます。



経済省BCP・事業継続力強化セミナー相談




住所 〒812-8546 福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎本館6、7階
TEL 092-482-5405

J08 経済産業省 九州産業保安監督部

九州地域の産業保安の確保が使命です。

九州産業保安監督部の使命は、国民生活や産業活動に欠かせない、ライフラインを安心してご利用いただけるよう、環境に配慮した安全と安心の確保に努めることです。ライフラインは自然災害に強いことが大切です。日頃から、事業者の皆様が法令を守っているかをチェックし、事故の未然防止策、自然災害に対する備えが万全かを現場へ向かい、事業者といっしょに確認しています。ブースでは、防災活動の一端をご紹介します。




現場で法令基準への適合性を確認しています

住所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎本館8階
TEL 092-482-5927

J09 自衛隊熊本地方協力本部

見たい!知りたいたい!じえいたい!

自衛隊熊本地方協力本部は、国民と自衛隊を結ぶ窓口として、「自衛官募集」「国民保護措置・災害派遣などにおける県市町村との調整」「退職隊員の就職援助」「予備自衛官の採用・管理」などを行っております。県内の各種イベントにも積極的に協力していますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



1/2tトラック、オートバイ

住所 〒860-0047 熊本市西区春日2丁目10-1 熊本地方合同庁舎B棟3階
TEL 096-297-2053

J10 日本赤十字社 熊本県支部

**災害発生時には救護活動を展開。
「いざ」に備えています。**

災害発生時の救護活動は、赤十字の重要な事業の一つであり、被災地のニーズに合った活動を円滑に行うため、訓練、物資の整備、人材育成など、常に災害に対応できる体制を作っています。医療救護、救護物資の備蓄・配布、義援金の受付、ボランティアの派遣など幅広い活動を展開しています。



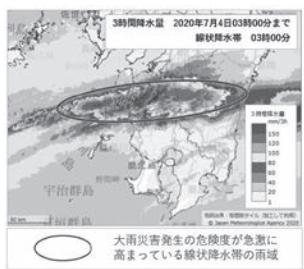
災害時の救護物資搬送車として活動します。

住所 〒861-8039 熊本市東区長嶺南2丁目1番1号
TEL 096-384-2100

J11 熊本地方気象台

守ります 人と 自然と この地球

令和2年7月豪雨では球磨川流域で記録的な大雨により氾濫が発生し、甚大な被害を引き起こしました。この記録的な大雨をもたらしたのが「線状降水帯」です。「線状降水帯」は日本各地でたびたび豪雨災害を引き起こしていますが、そのメカニズムは十分解明されておらず、予測は困難です。気象庁では線状降水帯の予測精度向上を喫緊の課題と認識し、産学官の連携を一層強化して線状降水帯の予測精度向上に取り組んでいます。本展示では、線状降水帯の予測精度向上をはじめ、大雨災害の被害軽減に向けた気象庁の取組について、ご紹介します。



3時間降水量 2020年7月4日03時00分まで
線状降水帯 03時00分

大雨災害発生の危険度が急速に高まっている線状降水帯の雨域

線状降水帯 2022年7月4日03時00分

住所 〒860-0047 熊本市西区春日10-2-1
TEL 096-324-3283

J 国・自治体